

「感動」 —自己表現のチャレンジ—

校長 山浦 麻紀



カーネーション
花言葉・・・「感動」

「砂の如き雲流れ行く朝の秋」 正岡子規

9月になっても残暑が例年以上に厳しい日々でしたが、最近、やっと朝夕の涼気に秋の気配が感じられる頃となりました。「秋」という季節は、春に種をまき、夏のエネルギーを蓄え、立派に成長した食物などを収穫する季節です。学校においても、子どもたちは、蓄えた力を思いっきり自己表現することにチャレンジしてくれています。すごいこと、だと思います。特に、3年生は、1、2年生の経験や知識を踏まえ、「中学生はここまで成熟することができる。」ことを後輩に示してくれています。

9月13日(金)にはさいたま市文化センターで、岸中学校文化祭(文化部の発表と合唱コンクール)が行なわれました。まさに、「魂の震える感動的な文化祭」を、生徒皆さんのチャレンジ力で創り上げてくれました。練習時間が短かったにもかかわらず、生徒一人ひとりのみなさんの魂と魂の通い合う素晴らしい発表や演奏、展示を聴いたり見たりすることができました。

「美術部」はプロ級の迫力ある作品を、「生活部」は岸中の歴史を探究しながら人を楽しませる魅力的な取組を、「演劇部」は会場中の観客が思わず息や瞬きを忘れてしまうぐらいの圧巻の演技力等を魅せてくれました。今年度、初の挑戦「理科部」は、プログラミング班によるオープニング動画や『幸せの輪』を空気砲で届けるワクワクとする技で会場を盛り上げてくれました。「英語部」は本格的な発音とともにショータイムを繰り広げ、エンターティナー力を発揮してくれましたし、「吹奏楽部」も質の高い素敵な音色とプログラムで私たちの心をHappyに踊らせてくれました。

そして・・・合唱コンクール。全てのクラスの合唱の度に大ホールが感動の渦に包まれました。

1年生の一生懸命さ、純朴な明るい合唱に**感動**しました。2年生の力強さと明るさ、丁寧さも感じる歌声に**感動**しました。そして、特に3年生。3年生はステージに立った瞬間から気持ちがグッと伝わってきました。まさに最高学年として誇るべき凛とした態度、美しくあたたかでエネルギッシュな歌声に「3年生になるとここまでうまく歌えるようになるのか」と次々と**感動の涙**がこみあげる素晴らしいものでした。後輩にとって、岸中にとって、本当に自慢の3年生です。

1年生も2年生も3年生も、「SHAKE THE SOUL ～響け この想い一組一声～」君たちは最高級で素晴らしい！

保護者の皆様方、地域の皆様方には、多くの様々な面での御理解御協力を頂きましたこと、そして暖かい御声援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。有り難うございました。

さらに、後日、本校教職員へ感謝と励ましのお便りを複数通頂きましたこと、**感動、感激**いたしました。重ねて感謝申し上げます。

さて、運動部は9月25日(水)から新人体育大会が始まりました。3年生から部活動を受け継ぎ、夏の猛暑を乗り切った1、2年生が、その成果を発揮する時が来ました。岸中学校のユニホームに誇りを持って「**もっと 岸中 前へ!**」頑張ってください。また、交通事故には十分な注意をお願いします。

3年生は進路に向かって本格的な取り組みが始まります。自分のペースで、自分の夢の実現に向け今できること、今やるべきことを確実に一步一步進んでください。皆さんなら、大丈夫です。応援しています。